

Town News “まちのできごと”

2/2 (水) サイワイ商事株式会社 町へ200万円の寄附



サイワイ商事株式会社（林孝和代表）より、町に200万円が寄附されました。

贈呈式において林代表（小堤、写真右）は、「今回の寄附は、社の創立50周年を記念して行った。創業当時の従業員は全員茨城町出身者であり、現在も半数の社員が町在住と、茨城町には長年の恩がある。今回の寄附が町への恩返しになればと思う。」と寄附に込めた思いを語りました。

小林町長は「長きにわたって地域の発展のために尽力いただいていることに感謝する。町民のために活用させていただきます。」と謝辞を述べました。

1/26 (水) 茨城県下水道促進週間コンクール 最終審査結果発表



細谷 陽愛さん

下水道に対する理解を深めるため実施している「茨城県下水道促進週間コンクール」の最終審査結果が茨城県より発表されました。

町からは、「書道部門」（応募数41,828点）で細谷陽愛さん（青葉中2年）が知事賞入選を受賞し、中根綾香さん（青葉中1年）が佳作を受賞しました。



2/11 (金) 未来に向けて灯す光の輪 きらり子どもあんどん・サプライズ花火

町商工会青年部が主催する「きらり子どもあんどん2022」が、町総合福祉センター「ゆうゆう館」の駐車場で開催されました。「子どもたちの想いを『光』で演出」をテーマに、町内の小学校（5・6年生）から集められたあんどんは五輪を模して配置され、子どもたちが描いた町への想い・将来の夢・可愛いイラストなどが、灯された火によって鮮やかに浮かび上がりました。

また、点灯にあわせ、町商工会青年部主催による「サプライズ花火」も実施され、冬の夜空に大輪の花が咲きました。



1/16 (日) きれいな涸沼に一步前進 涸沼周辺クリーン作戦を実施しました



茨城町ネットワーカー等連絡協議会（照沼一美会長）主催による「涸沼周辺クリーン作戦」が行われました。

今年度は、コロナ禍のなか、規模を縮小しての開催となりましたが、例年実施している「涸沼クリーン作戦」による涸沼周辺のゴミ拾い清掃活動に加え、湖岸周辺道路等の除草活動を重点的に行うことにより、歩行者と自転車利用者の安全確保と涸沼周辺の環境美化活動に取り組みました。

\*茨城町ネットワーカー等連絡協議会は、県が推進するチャレンジいばらき県民運動の趣旨に賛同し、地域活動に取り組む団体です。

1/26 (水) 藤井行雄さん 町へ100万円の寄附



藤井行雄さん（下座、写真右）より、町に100万円が寄附されました。

藤井さんは、45年にわたり経営した会社を閉業することから、「茨城町には長年お世話になってきた。ささやかな感謝の気持ちではあるが、少しでも町の発展のためになれば嬉しい。」と寄附への思いを語りました。

小林町長は「地域のためにと郷土愛を持ってくださる方の存在は町の宝。貴重な心遣いを役立てさせていただきます。」と謝辞を述べました。

12/28 (火) 町の農業を担う新しい力 就農希望者研修修了式



茨城町農業公社では、町外から移住してきた就農希望者を研修生として受け入れ、就農に向けた支援を行う新規就農希望者受入研修事業を行っています。

この度、令和2年に受け入れた宮崎誠さん（下土師）が、2年間の農業研修を修了し、町役場にて修了証の授与が行われました。宮崎さんは、「農業を継続して、将来的には地域に貢献できる農業者を目指します。」と抱負を述べました。

1/22 (土) 手づくり紙芝居コンクール 「こたつものがたり」優秀賞受賞



藤枝豊子さん（小堤）が作成した紙芝居「こたつものがたり」が、「第21回手づくり紙芝居コンクール」（紙芝居文化推進協議会主催）にて優秀賞を受賞しました。「こたつものがたり」は、藤枝さんが以前に絵本コンクールで入賞した作品をもとに作成され、こたつに入るおじいさんと近所の猫たちとのやりとりが、温もりあふれる筆致で描かれています。

藤枝さんは、「紙芝居のコンクールに挑戦したのはこれが初めて。現在も新しい紙芝居を制作予定で、挑戦の毎日です。これからも、町内のさまざまな場で披露していければと思っています。」と語りました。